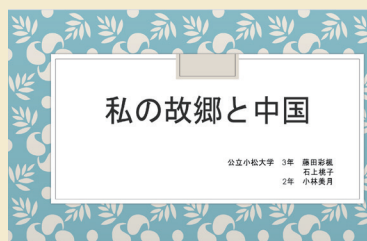
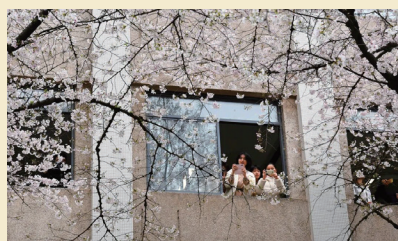
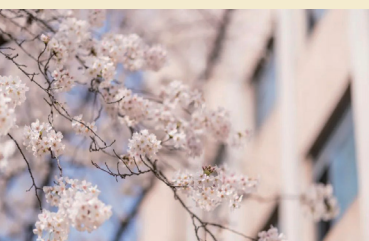
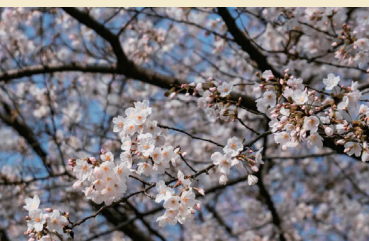




東南大學
SOUTHEAST UNIVERSITY

中日交流主题暑期学校 2022 成果汇报册

- 东南大学
- 日本女子大学
- 爱知大学
- 公立小松大学



中国・南京
2022年7月-9月



>>> 目录



交流大学简介.....	02
项目总结.....	02
课程简介	
课程一：中日文化比较：日本近现代史与中国文化.....	03
课程二：日语语言与文化：国际化教育背景下的相互交流应用.....	12
课程三：日语强化训练：日语典籍中的江苏都市记忆.....	21
学生名单.....	31
活动剪影	
专栏一：中日文化交流.....	32
专栏二：中日分组研讨.....	34
专栏三：中日学术探索.....	35
专栏四：中日学术发表.....	36



交流大学简介

日本女子大学

日本女子大学，始建于1901年，是日本第一所正规的女子高等教育机构，它的创立标志着日本正规女子高等教育的开端。且于1948年开设大学教育，改为新制日本女子大学。其校园位于东京都文京区目白台，是都心地段历史悠久的文教区。日本女子大学是日本私立女子大学中唯一设有理学部，拥有文理融合教育环境的综合性女子大学。其优势学科为儿童环境学专业，文学专业，生物多样性和分类专业，纳米微系统专业。



爱知大学

爱知大学以“发扬可贡献于世界和平的日本人文精神，为此培养具备才华的人才”为办学宗旨。爱知大学创建于1946年，是日本的一所以人文社会科学为主的综合性大学。学校包括三个校区，分别位于爱知县名古屋市、丰桥市。爱知大学本科专业有7个学部、13个科系及36个专业。此外，学校还设有6个研究所，尤其是国际中国研究中心的中国研究科，是日本著名的汉学研究中心，素来是培养日本中国通的重镇。



公立小松大学

公立小松大学是一所于2018年创校，地理位置位于日本石川县小松市的公立大学。大学以南加贺地区的学术、文化、产业的持续发展和形成地区教育研究的核心据点为目标。在公立小松大学4年的教育课程中，实施与地区自治体和企业交流合作的教育，培养具有明确的基础知识和国际视野、高度的专业能力和应用能力，活跃在地区和世界的专业职业人士。学部设置有国际文化交流、保健医疗、生产系统科学等。



课程总结

本年度日语系暑期学校在8月22日至9月3日两周举办，联合日本三所大学、采用ZOOM和腾讯会议平台联合授课，参与日本学生合计40余名，为我校师生提供了一场学术与国际化交流并重的课程大餐。课程一注重授课的学术性，邀请日本著名历史学家为我校学生讲述学术前沿与新兴课题的发展，课程二兼顾学术性与跨文化交流，由数名日本教授组成团队共同授课。课程三以中日学生互动交流，开展共同课题研究的形式展开，邀请日本专家开设企业、文旅专题演讲，注重跨文化交流并兼顾思政教育。

课程一

中日文化比较（日本近现代史与中国文化）

プロジェクト名：中日文化比較

日本近現代史と中国文化

合作大学：东南大学外国语学院日语系**担当学部：**日本語学科、外国語学部、東南大学**合作部門：**日本女子大学 人類社会学院**連携の海外部門：**日本女子大学 人間社会学部

课程简介

中日两国一衣带水，有古代长期友好交流的历史，也有近代以来复杂曲折的关系。中日两国邦交正常化 50 周年之际，正是回顾历史、加强彼此交流的良机。本课程以中日两国近现代史为中心，探究中日两国近现代的历史风貌与思想风潮的异同。并让中日学生展开讨论，反思历史、展望未来，为中日两国友好交流、构建东亚命运共同体贡献力量。

中日両国は一衣帯水の国で、長期に渡る古代の友好交流の歴史もあれば、近代以来の複雑多岐な関係もある。時は中日国交正常化 50 周年を迎え、歴史を振り返って、相互の交流を強化する好機を逃さずに本プロジェクトを押し進む所以である。講座の内容は中日両国の近現代史に焦点を当て、近現代の両国の歴史像と思想の潮流の類似点及び相違点を探ってみる。中日の若い学生たちに、議論を交わし、歴史を振り返り、未来を展望してもらうことによって、中日の友好交流、東アジアという共同体の構築に役に立てればありがたい。

日程安排

日期	时间（中国时间）	内容
8月22日 （星期一）	8:30-11:30（4课时）	1、讲座内容介绍 2、日本史概况
	14:00-15:30（2课时）	日本近现代史研究概况
8月23日 （星期二）	8:30-11:30（4课时）	日本近现代史研究专题 1：历史学研究方法
	14:00-15:30（2课时）	与中国的异同，讨论课
8月24日 （星期三）	8:30-11:30（4课时）	日本近现代史研究专题 2：女性史与性别史
	14:00-15:30（2课时）	中日两国的不同表现与实践，讨论课
8月25日 （星期四）	8:30-11:30（4课时）	日本近现代史研究专题 3：战后日本史研究的变迁
	14:00-15:30（2课时）	中日两国战后历史比较，讨论课
8月26日 （星期五）	8:30-11:30（4课时）	日本近现代史研究专题 4：日本现代思想的形成
	14:00-15:30（2课时）	近现代中日思想交流、代表性人物与思潮，讨论课
8月27日 （星期六）	17:00-18:30（2课时）	讨论及总结（中日小组负责人发言，全体）

授课方式：ZOOM 会议平台

学时 / 学分：32 学时 / 2 学分

选修要求：有 N2 水平的日语基础并对中日语言文化交流有一定了解，选修过《日语精读》、《日本文化概况》、《日本报刊选读》和《日本地域文化》等课程。

教学方法：

使用 ZOOM 平台在线授课。邀请日本大学生加入国际交流课堂，以中日近现代史为主题，通过回顾历史、了解思想，加强彼此交流。通过课堂教学、课下查找资料，课上汇报、讨论，以及课后小论文的方式，组织引导学生就中日近现代史的风貌与思想风潮进行深入研讨。

课程联系人：

陆老师：101010712@seu.edu.cn

主讲教师介绍



成田龙一

日本女子大学教授，日本历史学家
专业方向：日本近现代史、日本史学史

主要著作和论文：

成田龙一《大正民主》、岩波书店〈岩波新书 新赤版〉、2007年。

成田龙一《近现代日本史与历史学》、中公新书、2012年。

成田龙一《历史论集1 作为方法的史学史》、《历史论集2〈战后思想〉历史化》、《历史论集3 为了危机时代的历史学》、岩波书店〈岩波现代文库〉、2021年。

成田龙一《围绕历史认识与女性史风貌的重述：以近现代日本为对象》、历史评论(748)、2012年。

成田龙一《于当今新冠灾难之中：学习社会史研究成果》、历史地理教育(913)、2020年。

主な著書・論文：

成田龍一『大正デモクラシー』岩波書店〈岩波新書 新赤版〉、2007年。

成田龍一『近現代日本史と歴史学』中公新書、2012年。

成田龍一『歴史論集1 方法としての史学史』『歴史論集2〈戦後知〉を歴史化する』『歴史論集3 危機の時代の歴史学のために』岩波書店〈岩波現代文庫〉、2021年。

成田龍一「歴史認識と女性史像の書き換えをめぐる：近現代日本を対象に」歴史評論(748)、2012年。成田龍一「いま、コロナウイルス禍のなかで：社会史研究の成果に学ぶ」歴史地理教育(913)、2020年。

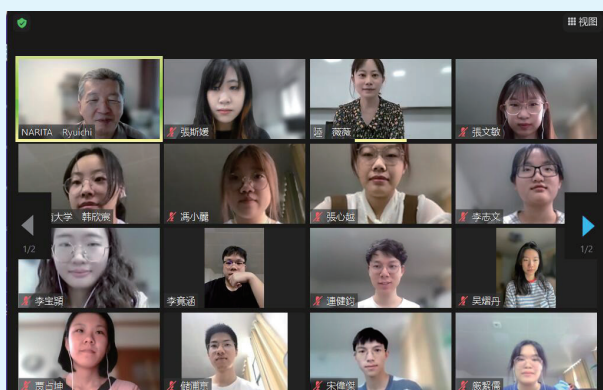
实施过程情况总结

2022年8月22日至8月26日，日本女子大学成田龙一教授应我院邀请，为我院国际暑期学校进行线上集中授课。本次集中课程的主题为“作为元史学（metahistory）的历史学”。

成田龙一教授是日本著名历史学家，主要研究方向为日本近现代史、日本史学史。成田教授的研究成果极为丰硕，为日本历史学研究、尤其是社会史视角下的史学史研究作出了重要贡献。代表性著作有：《大正民主》（岩波书店，2007年）、《近现代日本史与历史学》（中公新书，2012年）、历史论集三部曲《作为方法的史学史》、《战后思想的历史化》、《危机时代的历史学》（岩波书店，2021年）等。

在为期一周的授课中，成田教授首先梳理了战后日本历史学研究的三个流派及其主要的研究方法，即以羽仁五郎等为代表的战后历史学研究、以色川大吉等为代表的民众史研究、以及以二宫宏之等为代表的社会史研究。之后，成田教授不囿于历史学本身，而是进行了跨学科的对话，例如与前田爱等人的文学研究的联结；与上野千鹤子等人的性别研究的融合；以及与丸山真男、吉本隆明、柄谷行人等人的思想史研究的对话等。成田教授通过鞭辟入里的分析、深入浅出的讲解，揭示出后现代思潮影响下日本历史学研究的范式转换。此外，成田教授还就后真相时代（post-truth）历史学直面的问题及可能性，全球史、公众史等前沿问题与日语系师生展开了热烈讨论，进一步丰富了大家对历史学的理论、方法及实践的理解与认知。

此次线上集中授课大大开拓了日语系师生的学术眼界，使同学们对于今后的学习、研究有了更清晰的认识，也为深化我院区域与国别研究及跨学科研究提供了有益的参考。



师生反馈评价



成田龍一教授

みなさんのおかげで、無事に集中講義を終えることができました。優秀な学生・院生たちで、まとめの質問もよく考えられたものでした。普通の「通史」では面白くないと思い、方法と認識の推移を組み合わせため、ハードルが上がりましたが、皆よくついてきてくれた、と思います。ひとえに、陸先生のおかげです。深く感謝しています。本当によい経験と出会いをいたしました。あらためまして、お礼申し上げます。また、お目にかかる機会があることを望みます。

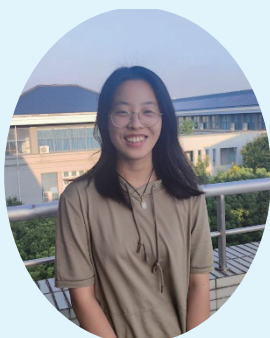
感谢大家的共同努力，使这次集中授课圆满结束。这次来上课的都是优秀的本科生和研究生，总结部分对我提出的疑问也很有他们自己的想法。我认为给大家上普通的“通史”课没什么意思，这次就大胆把历史的研究方法论与对史实的认知结合起来，分析二者随时间推移产生的变化，这也就提高了本课程的学术门槛。但我认为大家都做得很好，很高兴大家都跟上了进度。我很感谢组织课程的陆老师对我的所有帮助。在此再次深表谢意。这次能给东南大学的学生上课，对我来说真的是一个很好的经验和美好的邂逅。希望能有机会再次见到大家！

この5日間のコースで、私は多くのことを学びました。成田先生の指導のもと、私たちは歴史について多くを学び、それが異なる視点からいかに見られたものであるか、また歴史の解釈が学者によって大きく異なることも理解したのです。5日間にわたり、史学史の観点だけでなく、歴史学と文学という観点から、ジェンダー史をめぐって、日本の戦後史像、日本の「戦後思想」と「現代思想」を紹介していただきました。この5つの異なるテーマから、私はたくさんことを学びました。成田先生、このような素晴らしい授業をしていただき、本当にありがとうございました。

在这为期五天的课程中，我学习到了很多知识。在成田老师的带领下，我们了解到了很多关于历史的知识，明白了从不同角度下的历史有多么大的区别，并且在不同的学者中，对于历史的分析以及解释都有很大不同。五天中成天老师分别向我们介绍了史学史的观点、历史学和文学、性别史、日本战后史学及战后的思想。在这五个不同的历史学中，我学习到了非常多，也了解到该如何去学习历史。非常感谢成田老师能给我们带来如此精彩的课。



严黎儒



韩欣宸

成田先生は偉大な歴史家で、今回の講義でとても勉強になりました。私はもともと歴史に興味がありましたが、この講座の後、歴史学についてより深く知ることができました。歴史は過去の解釈だけでなく、未来の展望でもあります。たしかに過去に戻ることはできませんが、歴史を通して人間の過去を広く知ることができますし、共感することはできませんが、これからどうすべきかという教訓を得ることはできます。同時に、歴史は一本の線ではなく、より全面的に歴史を俯瞰するためには、通常歴史資料だけでなく、文学史、社会史、民衆史にも視野を広げなければなりません。われわれは歴史を多面的に理解しなければなりません。

成田老师是一位十分伟大的历史学家，在本次讲座中我感到受益匪浅。我本来对于历史就有兴趣，在本次讲座后，我对于历史学有了更深的了解。历史不仅仅只是对于过去的解读，更是对于未来的展望。我们的确无法重新回到过去，但是通过历史，我们可以更加广泛地了解人类的过去，虽然无法感同，但是能够从中汲取教训，从而指导我们未来应该如何做。同时，历史不是单线的，为了能够更全面地俯瞰历史，我们也应该拓展自己的历史视野，不仅仅是通常意义上的历史资料，还有文学史、社会史、民众史。我们必须要多角度地去理解历史。

今回の一週間の成田先生の授業を受けて、多くの感想が湧いてきました。成田先生は文学、歴史と思想について多くの内容を教えてくださいました。非常に豊富で意味深い授業で、とても勉強になりました。先生は史学史、歴史学、文学という三つの観点から歴史学の方法を教えてくださいました。先生はそれぞれの観点を詳しく紹介してくださって、歴史の方法を理解させてくださいました。そして、私が最も印象に残ったのはジェンダー史です。先生の詳しい紹介を通じて、私はジェンダー平等について考え直しました。また、私も先生の授業と質問への解答から日本の戦後史、戦後思想及び現代思想を知りました。今回の授業を受けて、知識がさらに豊富になり、本当に勉強になりました。

这次听了成田老师一周的课，有很多感想。成田老师教了我们很多关于文学、历史和思想的内容。非常丰富和深刻。我受益匪浅。老师从史学史、历史学和文学三个角度教我们历史的方法。老师详细介绍了各自的观点，让我们了解了历史学的方法。而我印象最深的是老师介绍的性别史。通过老师的详细介绍，我重新思考了性别平等。另外，我也从老师的授课和回答我们的问题中了解了日本的战后史以及战后思想和现代思想。通过这次课，我的知识更加丰富了，真的是受益匪浅。



李宝颖



杨蕙泽

八月二十五日に成田先生は日本の戦後史についての講義をしてくださいました。私は今陸先生のご指導の下で戦争記念館による形成されてきた人々の記憶を研究していますので、成田先生の講義から、戦後史を新しい切り口として理解を深め、いっぱいな示唆を得ました。午後のディスカッションで、グループメンバーと興味を持つ課題をいくつか検討してから、みんなの興味関心に共通する部分をピックアップして先生に質問してみました。成田先生はどんな質問されても、分かりやすく優しく説明をしていただいで、本当に感動しました。先生の学者ならではの姿とプロフェッショナルな学術精神に感心しました。この授業を通して、いつもと異なる目線から日本の歴史を見直ただけでなく、近い将来、社会科学について研究したい希望も固まってきました。

8月25日成田老师的讲座是关于日本战后史的。我和同学们目前正在陆老师的带领下研究战争纪念馆形成的集体记忆，成田老师那次的讲座让我对日本战后史有了新的认识，给了我很多启发。那天下午的讨论中，我和伙伴们讨论了一些有趣的问题，我挑选了两个我们都很好奇的问题向老师请教。课程中，成田老师亲切地用简单的日语耐心解释，让我十分感动。他的学术专业性也让我由衷钦佩。但最重要的是，对我来说，这次集中讲义让我从不同的角度重新审视日本历史，也更加坚定了我今后研究社会科学的愿望。

この夏、成田龍一先生の授業で、近代史に関する最先端の研究を学ぶ機会に恵まれました。先生の授業が少し難解でしたが、大変勉強になりました。成田先生は、戦後の日本近代史研究を「戦後史研究」、「通史研究」、「社会史研究」という3段階に分けて、それぞれの研究パラダイム、代表的な作品、主要な考え方を包括的に紹介してくださいました。また、代表的な著作も解読していただき、日本近代史の基本的な課題を把握する上で大変役に立ちました。今回の講演のおかげで、視野が大幅に広がり、戦後日本史の展開に対して強い関心を持つようになりました。

今年暑期学校，我有幸学习了成田龙一老师有关近现代史的最新前沿的学术知识，虽然理解起来有些困难，但还是受益匪浅，感悟颇深。成田老师将战后近现代日本史研究分为“战后历史学”、“民众史研究”和“社会史研究”三个阶段，并对每个阶段的研究范式，代表性著述和主要观点等进行了较为全面的介绍和分析，让我了解战后日本史学界的近现代日本史研究的主要状况，对解读一些具有代表性的研究著述和把握近现代日本史的一些基本问题也大有裨益。这场讲座极大开阔了我的眼界，使我对战后日本历史发展产生浓厚的兴趣。



宋伟杰



曾思洋

成田先生のご丁寧な説明で、戦後日本社会の歴史、経済、政治、文化の発展など、様々な角度から勉強することができ、戦後の日本についてより深く理解することになりました。その中で、戦後日本人の対米意識と、日本人を年代別に3世代に分けて紹介してくださった内容が、私にとって一番興味深い内容でした。日本人が戦後の敗戦という事実をどのように考えていたかを勉強になっただけでなく、中日関係、そして日米関係がなぜここまで来ていたのか、ということをお教えました。さらに、日本人の国民性についても理解を深めました。

通过成田教授的悉心讲解，我们从各个角度研究了战后日本社会的历史及其经济、政治、文化的发展，对战后日本有了更深刻的认识。其中，最让我感兴趣的是战后日本人对美国的态度以及将日本人按时间顺序分为三个世代的内容。这不仅让我们了解了战后日本人是如何看待战败这一事实，也让我们知道了日中关系以及日美关系走到今天这一地步的原因。另外，我们也对日本人的国民性有了更深的认识。

夏と秋の境目に、空間の壁を越えて、成田先生の素晴らしい講座を受けることができました。とても勉強になりました。講義の中で、私が最も印象深かったのは、「われわれが歴史のあらゆる法則をはっきりと知り、われわれが歴史の必然の進歩のなかに生きようとする時にのみ、われわれの自由の喜びがあるのである」という言葉でした。偉大さを知るために、その機微を探究することは、人類に共通する追求であるからです。

また、「戦後歴史学」における「近代日本に対する批判意識」への先生の解釈だけでなく、その社会、経済的背景への考察の深さにも驚きました。先生は日本の歴史学界の研究を「戦後歴史学」、「民衆史研究」、「社会史研究」という三段階に分けて解釈してくださったので、私は日本の政治経済の基盤を成す民衆について、より深く理解することができました。

非常荣幸在夏秋交汇之际，跨越空间上的阻碍，聆听成田龙一教授的精彩讲座。这次经历使我受益匪浅。讲义中我感触最深的是：“只有清楚地了解历史的所有规律，并努力生活在历史的必然进步中时，我们才能享受自由”这句话。探精微而知卓著，是人类共同追求。此外，教授博达的史学观点使我惊叹，教授对“战后历史学”中“对近代日本的批判意识”的解读鞭辟入里，对其社会经济背景的探究也极有深度。教授将日本历史学界研究分为“战后历史学”、“民众史研究”、“社会史研究”三个阶段，也使我对日本政治经济的构成基础——日本民众有了更深刻的认识。



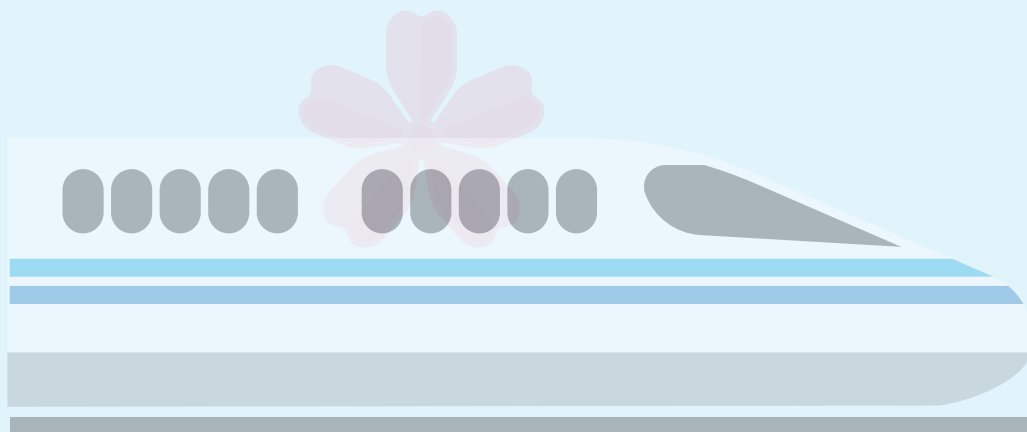
储浦京



连健钧

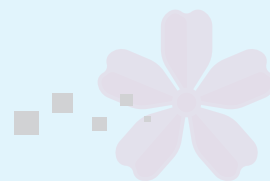
今回の一週間の成田先生の集中講義が印象的でした。これまでも歴史に触れることはありましたが、今回ほど貴重な知識を教わったのは初めてです。成田先生の講義は、日本の歴史研究を詳しく紹介してくださいました。これまで教科書でしか歴史を学んでこなかった私たちがほとんど耳にすることのなかった研究方法や理論を、今回は成田先生の授業で学びました。また、中国人学生にとって、日本の歴史学研究は非常になじみのない分野ですが、先生は非常に真剣に多くの学者を紹介し、私たちの見識を大いに豊かにしてくださいました。午後のディスカッション部分では、成田先生と歴史についていろいろ話し合いました。私たちのすべての質問に対して成田先生は詳しく答えてくださいました。私は政治学に興味があり、成田先生にお薦めの政治学者の作品があるか否かを聞いて、先生は3人の政治学者を推薦してくださいまして、本当に感動しました。私はこれから彼らの作品をぜひ拝読したいと思います。成田先生の授業を聴けることに誠に感謝しています。成田先生のような学識が豊かな人になるように、しっかり努力していきたいと思っています。

成田老师这次为期一周的密集讲座令人印象深刻。我以前也接触过历史，但从来没有像这次这样被教授过如此有价值的知识。成田老师的讲座详细介绍了日本的历史研究。我们在成田老师的课堂上了解了历史的研究方法和理论，而我们这些以前只从教科书上了解历史的人很少听说过这些。另外，对于中国学生来说，日本的历史研究是一个非常陌生的领域，但他非常认真，介绍了很多学者，大大丰富了我们的见识。在下午的讨论课上，我们与成田老师讨论了历史的各个方面。他详细地回答了我们所有的问题。我对政治学感兴趣，当我问成田老师是否有政治学家的推荐时，他向我推荐了三位政治学家，这真的让我印象深刻。我想从现在开始阅读他们的作品。我真的很感谢有这个机会听成田教授的课。我想成为成田教授那样的学者而做出坚定的努力。





课程二



日语语言与文化 (国际化教育背景下的相互交流应用)

プロジェクト名：日本語言語と文化
国際化教育背景における相互交流応用

合作大学：东南大学外国语学院日语系

担当学部：日本語専攻、外国語学部、東南大学

合作部门：爱知大学 現代中国学部

連携の海外部門：愛知大学 現代中国学部

课程简介

本课程以语言与身份认知（identity）为主题，拟邀请日本爱知大学现代中国学部学部长砂山幸雄教授、河边一郎教授、小川典子教授主讲。从他者视角下的中日形象、中日语言比较、中国与日本的世界认识等方面，讲述中日语言文化及思想的异同。

本プロジェクトでは言葉とアイデンティティをテーマにして、愛知大学現代中国学部長砂山幸雄先生、川辺一郎先生、小川典子先生を招いてオンライン講義を開く。他者視点から見た中日印象、中日の言語の比較、中国と日本の世界認識など、多方面に渡って中日の言語、文化、及び思想の相違点を語り合う。

日程安排

日期	时间（中国时间）	内容
8月29日 (星期一)	8:30-11:30 (4 课时)	1、讲座内容介绍 2、主题 1：日本人自画像 演讲人：砂山幸雄
	14:00-15:30 (2 课时)	中国人自画像，讨论课
8月30日 (星期二)	8:30-11:30 (4 课时)	主题 2：中日语言的异同点 1（日语与汉语的差异，中日文化与思想的差异对语言的影响） 演讲人：小川典子
	14:00-15:30 (2 课时)	中日语言的异同，讨论课
8月31日 (星期三)	8:30-11:30 (4 课时)	主题 3：中日语言的异同点 2（从语言景观的视角出发） 演讲人：小川典子
	14:00-15:30 (2 课时)	中日两国成语、谚语的不同表现与实践，讨论课
9月1日 (星期四)	8:30-11:30 (4 课时)	主题 4：日本人如何认识世界（从欧美使节团到安部外交） 演讲人：河边一郎
	14:00-15:30 (2 课时)	中国人是如何认识世界的？中日比较，讨论课
9月2日 (星期五)	8:30-11:30 (4 课时)	主题 5：他者视角中的日本人画像与今日日本（外国人眼中的日本人形象与日本人对此的反应） 演讲人：砂山幸雄
	14:00-15:30 (2 课时)	他者视角中的中国人形象与今日中国，讨论课
9月3日 (星期六)	17:00-18:30 (2 课时)	讨论及总结（中日小组负责人发言，全体）

授课方式：VOOV Meeting 会议平台

学时 / 学分：32 学时 / 2 学分

选修要求：有 N2 水平的日语基础并对中日语言文化交流有一定了解，选修过《日语精读》、《日本文化概况》、《日本报刊选读》和《日本地域文化》等课程。

教学方法：使用 VOOV Meeting 平台在线授课。邀请日本大学生加入国际交流课堂，以语言与身份认知为主题，以相互交流应用为手段，通过回顾历史、了解思想，促进异文化交流。通过线上讲座、课下查找资料，课上汇报、讨论，以及课后小论文的方式，组织引导学生就中日语言文化差异进行深入研讨。

课程联系人：韩老师 101012096@seu.edu.cn

主讲教师介绍



砂山幸雄

爱知大学现代中国学部长，
恽代英革命史研究者
专业方向：中国政治思想史、
中日关系



河边一郎

爱知大学现代中国学部教授，
联合国问题研究者
专业方向：联合国问题研究、
日本外交史



小川典子

爱知大学现代中国学部教授
专业方向：汉语教育、
二语习得

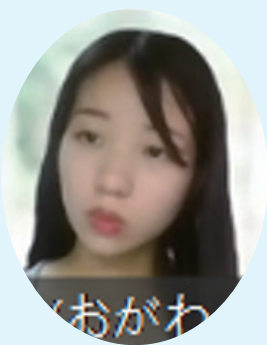
实施过程情况总结：

2022年8月29日至9月3日，我院邀请爱知大学现代中国系主任砂山幸雄教授以及河边一郎教授、小川典子教授进行在线联合集中授课。本次在线国际化课程以语言与身份认知（identity）为主题，从他者视角下的中日印象、中日语言比较、中日世界认识等多个方面深入探讨了中日语言、文化、思想的异同。我院日语系大三学生和来自日本爱知大学、立命馆大学的学生，共计22名中日同学参加了本次国际化在线课程。

在为期五天的授课中，砂山教授首先就“现代日本人的自我认知”为题进行了讲授，向中日学生深入介绍了二战以来日本人自我认知的基本特征、形成原因、演变趋势等，并引导两国学生围绕这一课题进行了深入的讨论。之后，河边教授、小川教授也运用理论结合实践的方式，分别就中日文化、语言的联系与差异进行了授课。他们的课堂上，我院同学纷纷结合自身生活体验，积极发言，同爱知大学的日本学生进行了深入的交流。

此次国际化线上课程，不仅加深了日语系同学对于日本社会、文化以及语言的理解，开拓了学术眼界，对相关领域的学术研究有了更为清晰的认识，同时也让同学们对国际化和跨文化交际有了更直接、更深刻的了解。此次国际化课程是我院区域及国别研究方向的一次有益尝试。

师生反馈评价



小川纱良

日本語と中国語の相違点に参加しました。ワークを通じて、日中の同じ漢字でも全く異なる意味になる場合があり、日本人と中国人のコミュニケーションの中で誤解を生む原因になることを学ぶことができ勉強になりました。

我参加了“日语和中文的差异”这节课。通过小组合作，我了解到日语和中文中虽然存在相同的汉字，但有时也会有完全不同的意思，这可能会导致日本人和中国人在交流中产生误解。通过这节课真的学习到了很多。

授業の問いの中で、こういった質問がありました。日本文化のなかで「カッコいい」と感じるものにはどんなものがありますか？またそれはなぜ「カッコいい」のでしょうか？

この問いに対して、私の班ではすぐに答えが出ず、私自身も戸惑いました。

何故なのか、私はこう考えました。

日本人は日頃他者への配慮や気遣い、また時間を厳格に守ることから、心に余白が必要です。そのため、日本文化はよりリラックスしてゆったりとした時間を過ごすことが出来るものであると考えました。だから”カッコいい”と聞かれた時には、考えの転換が必要でした。

在课堂提问时，有这样一个问题。日本文化中，让人觉得“酷”的东西有哪些呢？它们为什么让人感觉到“酷”呢？

我们小组没有立即给出这个问题的答案，我自己也有些困惑。

我思考了一下原因。

因为日本人平时在关心、顾虑别人的感受以及严格遵守时间上消耗了不少心力，就更需要在心中留有一定的“机动空间”。因此，我原以为日本文化是一种可以让人更放松、更悠闲地度过时间的文化。所以，当听到“酷”这个词的时候，还是需要转换一下想法。



中岛佑辅



寺仓大智

オンラインで外国の学生と交流する機会は今までなかったもので、貴重な機会になりました。グループワークは、中国語を用いることが多く、中国の学生は日本語を話す時間が少なかったと思います。ありがとうございました。

这次能与中国同学交流对我来说是一个宝贵的机会，因为我以前从未有过机会能与外国学生线上交流。我们小组合作时经常会使用中文，而中国学生讲日语的时间比较少。非常感谢！

今度の交流は本当に忘れられない経験でした。貴重な機会を授けていただき、感謝しています。集中講義では、愛知大学の3名の先生方が、日本人の視点から、日本文化、日本語と中国語の違い、日本人の目から見た国際社会などについて、生き生きと講義してくださいました。日本人の視点から見た文化、言語、政治がどのようなものか、初めて直感的に理解できました。毎日午後の交流会では、愛知大学の同級生とグループを作り、先生から出された課題をめぐって活発に議論し、スピーキングとリスニングの練習だけでなく、貴重な友情を育むことができました。愛知大学の先生と学生はとてもフレンドリーで、再会を楽しみにしています。



张文敏

这次的交流真的是一段难忘的经历。也很感谢能够有这样一次宝贵的机会。爱知大学的三位老师从日本人的视角出发，分别从日本文化、日语和中文的差异、日本人眼中的国际社会这几个方面生动形象地进行了授课。我第一次直观地了解到日本人视角下的文化、语言、政治是怎样的。在每天下午的交流中，我们与来自爱知大学的同龄人一起组成小组，针对老师提出的问题进行热烈的讨论，既练习了自己的口语和听力，也收获了跨国的友谊。爱知大学的老师和同学们都很友善，期待着还可以再见。



冯小丽

愛知大学の先生方の講義を受けることができ、大変光栄だと思います。また、愛知大学や立命館大学の学生たちと議論や意見交換ができ、幸せだと感じました。講義では、日本の歴史や文化についてより深く理解できました。砂山先生の講義は日本文化論を中心に、2日間の講義だけでも日本文化を包括的に理解できました。河辺先生の講義のおかげで、歴史を見直すことができただけでなく、歴史研究家ならではの魅力を深く感じました。小川先生の講義は中国語と日本語の違いに関するものでした。日本語を学んだと同時に、母国語をいかに軽視していたかを気づかせてくださいました。本当に勉強になりました。

很荣幸能够聆听爱知大学老师们的讲座，也很开心能够与爱知大学以及立命馆大学的同学一起讨论交流。这次讲座让我对日本的历史文化有了更进一步的了解。砂山老师的讲座着眼于日本文化论，两天的讲座让我对日本文化有了更为全面的认知；河辺老师的讲座让我深切感受到了正视历史、爱憎分明的研究学者的魅力；同时小川老师所带来的汉语与日语的差异的讲座不仅让我学习到了日语知识，更让我意识到了自己对母语学习的忽视。实在是受益匪浅。

この一週間の授業に参加できてとても光栄だと感じます。今まで学んでいなかった多くの知識に触れることができました。砂山先生の「日本人の自画像」、小川先生の「日本語と中国語の相違点」、川辺さんの「日本人は世界をどう認識してきたか」の講義がとても印象深かったです。私たちのためにたくさんの準備をしていただいたようで、感謝の気持ちがいっぱいです。毎日午後からのグループディスカッションで日本に関する多くの知識を学びました。また、日本人学生との交流を通じて、日本語をもっとしつかり勉強しなければならないと思うようになりました。今回の交流は本当に忘れられない経験でした。

非常荣幸有机会参加这一周的课程，在课上接触到了许多以前没有学习过的知识。砂山老师讲的日本文化论、小川老师讲的中文与日语的异同点、河辺老师所讲的“日本人是如何认识世界的”，都在我心中留下了很深的印象。能感受到各位老师为我们做了许多准备工作，非常感谢。

每天下午的小组讨论环节也让我学习到了很多有关日本的知识。和日本同学讨论的过程也激励着我更加努力地学习日语。这次的交流真的是一次很难忘的经历！



张斯媛



李志文

一週間で、愛知大学の先生方や学生と交流できたことは、本当に楽しく、ありがたく感じました。日本文化論、日本人論、中国語と日本語の同音異義語などの話題について議論し、最近の日本の発展についても学びました。毎日行われたグループディスカッションでは、日本人学生と意見交換し合い、知識を深める良い機会となりました。また、日本人先生や学生と直接会話することで、日本語の聞き取りと会話の能力も向上しました。この貴重な機会を大切に、学んだ知識を蓄積しつつ、今後も自分を高める努力を続けていきたいと思います。

在这一周里，我们和爱知大学的老师同学们交流沟通，真的很开心也很感激这次机会。我们围绕日本文化论，日本人论，中文和日文当中的同形异义词等话题进行了讨论，也了解了日本近代的发展情况。每日的分组讨论中，我们和日本同学互相分享自己的看法，也是一个增长知识的好机会。和日本的老师和同学直接对话，也提高了我的日语听力和会话的能力。我会珍惜这次宝贵的机会，积累学到的知识，今后也会不断努力提升自己。

愛知大学との一週間のオンライン交流は短かったですが、充実したものでした。これを機に、言葉を磨くことができただけでなく、日本人学生との交流の中で文化の融通を感じる事ができました。授業中、中日言語の相違点に気づいたことから始まり、日本文化の独特性を認識できるようになりました。また、中日の自画像と他者像の違いについても討論し、異文化交流の楽しさを感じました。さらに、日本語の勉強、大学生活などについても日本人学生と交流し、お互いの理解を深めてきました。



张心越

与爱知大学一周的线上交流短暂而充实的，借助此次机遇，我们不仅磨练了语言技能，更在交流中感受到了文化融通。从感悟两国语言文化的异同，到认识日本文化的独特属性，再到关于中日自画像与他者形象的差异的讨论，在此过程中，我切身感受到了跨文化交际的乐趣。另外，在讨论环节，我们还就日语学习、大学生活等方面的内容进行了交流，增进了彼此的了解。



李竞涵

愛知大学の先生や同級生との交流プログラムに参加できることが光栄だと思います。日本語専攻の学生として、このような機会に恵まれたことは本当に素晴らしいと思います。授業では、愛知大学の先生方から、日本文化の独自性や中国文化との違いなどを説明していただき、違いが生じる理由も分析していただきました。一番印象深かったのは2点あります。1つは、毎日のパネルディスカッションで日本人大学生との交流でした。それを通じて、日本人学生の親しみやすさと洞察力に感心しました。日本人学生は私たちの発言に耳を傾けてだけでなく、自信を持って話してくださいと励ましてくれました。アイデアを交換するとき、彼らは問題の本質を精確に指摘し、私たちに真剣に説明してくれました。2点目は、日本人教員による中日歴史の反省と、中日両国将来の関係性に関する展望です。この講義は、日本に対する理解を深めることができるだけでなく、専門能力の向上にも大いに役立つだろうと思います。

我很荣幸能够参与本次与爱知大学的老师及同学的交流学习课程。作为日语专业的学生，能够有这样的机会是相当好的。在这一周里，爱知大学的老师们从多个角度和我们介绍了日本文化的一些内容，重点是介绍了日本文化的一些独特性，以及与中国文化的一些差异并分析了其原因。有两个方面令我印象深刻，第一个是每天的小组讨论中与日本同学的交流环节。在这个过程中，日本同学的友善和见解令我印象深刻。在我们的同学表述时，日本同学们都能耐心地听完并鼓励我们勇敢地说下去。在交换想法的时候，他们也能准确地指出问题的关键并认真地解释给我们听。第二个是日本老师们对中日历史的反思以及对两国未来关系的展望。对我来说，这不仅能帮助我能生活中更了解日本，而且对于我未来的专业发展也有很大帮助。

今回の集中講義では、日本人先生の方々からの講義を受けたことができ、日本人学生と直接交流することができました。今回の交流はを通して、日本の言語、歴史、文化、政治といった面に対して、新しく深い理解ができるようになりました。とても勉強になりました。日本人先生と学生たちの考えや感想からも、異文化交流の大切さや注意点に気づいてきました。要するに、今回の集中講義は私にとってまったく斬新な体験でした。日本語交流能力も向上し、日本文化に対する理解も深まり、物事を見る視野も広げられました。とても貴重な体験でした。



吴骥

此次的暑期学校的授课，能聆听讲师们的讲座，与来自日本的学生直接交流。这次交流让我对日本的语言、历史、文化、政治等多个方面有了新的、更深刻的认识。我学到了很多。从日本讲师和学生们的想法和感想，也能切身感受到不同文化交流的重要性和注意点。总之，这次的暑期学校交流对我来说是一次全新的体验，使我的日语交流能力和对日本文化的认识有了很大的提高。这次交流开阔了我的视野，是非常宝贵的体验。



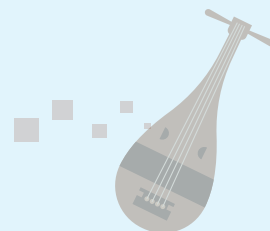
芮宜斌

一週間の交流を通じて、中日の政治、文化、そして言語学習について新しい知識と感想を得ることができました。愛知大学と立命館大学の学生とのディスカッションで得たものは多かったです。中でも小川先生の中国語と日本語の誤用に関する講義がとても面白かったです。みんなの興味関心を引き起こし、一緒に授業に参加し、言語学習についても改めて理解することができました。言語の価値は情報伝達なので、言語を正しく使えるか否かは、その言語の習得程度を評価する基準になります。日本人大学生とコミュニケーションを取りながら、彼らの中国語のレベルに驚き、これからも彼らと同じように外国語の習得に励まないといけないと決めました。

进过一周的交流，我对中日政治，中日文化，以及语言学习都有了新的体会和感悟。爱知大学以及立命馆大学的同学的水平都很高，与他们的讨论让我收获了很多，其中最让人记忆深刻的就是小川老师的中日语言的误用，很有趣，能让大家一起参与进来，也让我对语言学习有了新的认识，不仅仅是看得懂，还要能熟练运用，这是我们所欠缺的一个学习目标。语言的价值在于传播信息，所以能否正确的使用一门语言是是否掌握一门语言的评价标准；在和日本同学交流的过程中，我对他们的中文水平感到震惊，也激励我以后要努力学习外语。



课程三



日语强化训练（日语典籍中的江苏都市记忆）

プロジェクト名：日本語強化トレーニング

日本の書籍における江蘇の都市記憶

合作大学：东南大学外国语学院日语系

担当学部：日本語専攻、外国語学部、東南大学

合作部門：日本公立小松大学 国際文化交流学部

連携の海外部門：公立小松大学 国際文化交流学部

课程简介

毋庸置疑，在异文化交流中，观察外国人如何以他者视角的目光去诠释本国文化与社会是极其有趣的，既有令人忍俊不禁的误解，也有让本国人都惊讶不已的盲点发现。中日文化虽然自古以来具有“一衣带水”的相似性，由于不同语言、民族的特性，在文化与社会诸多方面，异同之处颇多。本课程以日文典籍中的江苏都市记载为出发点，讲述日语中的江苏文化探源与启示，从异文化交流角度解读他者视觉下的江苏都市记忆。采用两国学生联合授课的新模式，聚焦新兴社会热点课题，直感中日社会文化异同，促进中日青年学生的异文化理解能力和外语交流能力的同时，期待中日青年能更好的加深相互理解，为中日友好做出贡献。

むろん、異文化交流の中に外国人が他者の目で如何に自分の国の文化と社会を解釈するかを観察してみれば、実に面白い。開いた口が塞がらないとんでもない誤解もあれば、自分を生まれた母国なのに案外知らない一面を教えてくれたと驚嘆するほどの盲点発見もある。日中文化は昔ながらの「一衣帯水」の相似性を持つが、違う言語や民族のゆえに文化や社会の多方面に渡って異同する部分がかかなり大きい。本プロジェクトでは日本語の書籍における江蘇記憶を出発として日本語の中の江蘇ルーツ探り及びその啓示を語り、異文化交流の角度から他者視界の江蘇の都市描写を解説する。両国の大学生を一堂に集まることによって日中両国の社会焦点課題を検討する。中日社会の文化差異を直感し、青年学生の異文化交流と言語交流のレベルアップを目標とする同時に、両国の若年層の相互理解がより一層の強化を実現でき、これからの日中友好に一役買うことを期待してやまない。

日程安排

日期	时间(中国时间)	内容
8月29日 (星期一)	8:30-11:30 (4课时)	1、开课式 2、讲座内容介绍(刘迺华) 3、主题1: 异文化交流的适应性 演讲人: 藤木菜绪
	13:00-14:30 (2课时)	中日异文化交流之我见, 讨论课
8月30日 (星期二)	8:30-11:30 (4课时)	主题2: 日本大学生的求职之道 演讲人: 溝邊幹太
	13:00-15:30 (2课时)	中日异文化交流之我见, 讨论课
8月31日 (星期三)	8:30-11:30 (4课时)	主题3: 日本辞书中的“南京”记忆的构建 演讲人: 刘迺华
	13:00-14:30 (2课时)	中日异文化交流之我见, 讨论课
9月1日 (星期四)	8:30-11:30 (4课时)	主题4: 日本民间的禁忌与迷信 演讲人: 高橋優大
	13:00-14:30 (2课时)	中日异文化交流之我见, 讨论课
9月2日 (星期五)	8:30-11:30 (4课时)	主题5: 一、企业专题、EIZO株式会社与中国 二、文旅专题、白山的魅力与中日交流 演讲人: 中川貴義 演讲人: 浦野彩夏
	13:00-14:30 (2课时)	中日异文化交流之我见, 讨论课
9月3日 (星期六)	13:00-14:30 (2课时)	讨论及总结(中日小组负责人发言, 全体)

授课方式: ZOOM 会议平台

学时/学分: 32学时/2学分

选修要求: 有N2水平的日语基础并对中日语言文化交流有一定了解, 选修过《日语精读》、《日本文化概况》、《日本报刊选读》和《日本地域文化》等课程。

教学方法: 使用ZOOM平台在线授课。邀请日本大学生加入国际交流课堂, 以中日近现代史为主题, 通过回顾历史、了解思想, 加强彼此交流。通过课堂教学、课下查找资料, 课上汇报、讨论, 以及课后小论文的方式, 组织引导学生就中日近现代史的风貌与思想风潮进行深入研讨。

课程联系人: 陆老师 101010712@seu.edu.cn

主讲教师介绍



主讲教师：刘迺华

公立小松大学教授

专业方向：二语习得、汉语教育理论与实践

日本公立小松大学国际文化交流学部教授。现为中国国家级普通话水平测试员、中国汉语口语研究会理事、世界汉语教学学会终身会员、日本中国语教育学会会员等。研究方向为汉语国际教育和日本汉语教育史。著有《对外汉语教学的理论与实践》等十余部著作、《汉语语法教学程序及相关教学法》等三十余篇论文和《汉语风·口语篇》等多本教材。



讲师 1：中川贵义（右二为中川贵义先生）

石川县日中友好协会 地区理事

白山市日中友好协会 事务局长

HSK(汉语水平考试) 考官

EIZO 株式会社制造部生产技术科主任

2010 年至今，艺卓显像技术（苏州）有限公司技术指导

讲座题目：EIZO 株式会社与中国（EIZO 株式会社と中国）



讲师 2：浦野彩夏

日本石川县白山市政府国际交流课友好城市与外国居民业务主管
大学时代曾来华学习汉语一年。

工作以后曾作为白山市友好访华团团员访问溧阳等市

讲座题目：白山的魅力与中日交流（白山の魅力と日中交流）



特别讲师：高桥优大

毕业于日本公立小松大学国际文化交流学部

现任职于日本永旺永乐株式会社

在大学时代曾获“江苏杯”汉语演讲大赛初级组一等奖、中上级组特等奖和中国驻名古屋总领事馆总领事奖。曾作为获奖代表受邀来江苏参观交流。

曾在东南大学海外教育学院留学

讲座题目：日本民间的禁忌与迷信（日本民間のタブーと迷信）



特别讲师：沟边干太

毕业于日本公立小松大学国际文化交流学部

现任职于日本东京某日中贸易公司

在大学时代曾获“江苏杯”汉语演讲大赛初级组一等奖，连续两年获日本全国汉语演讲大赛长野县赛区第一名，获日本全国汉语演讲大赛第三名和日中友好会馆奖。曾获江苏省政府奖学金在南京大学海外教育学院留学

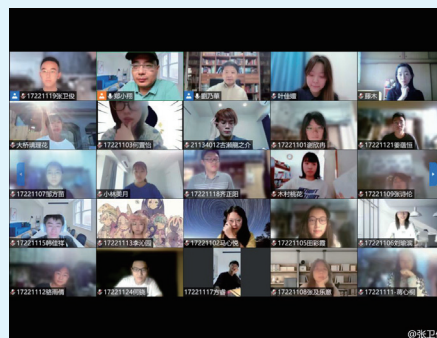
讲座题目：日本大学生的求职之道（日本人大学生の就活の道）

课程实施情况报道

2022年8月29日至9月2日，日本公立小松大学国际文化交流学部师生应邀同我院开展暑期学校线上交流周活动。本次活动的参与者为日本公立小松大学国际文化交流学部刘乃华教授带队的小松大学国际文化交流学部学生和日语系2021级师生。除此之外，EIZO株式会社制造部生产技术科系长、日本石川县日中友好协会地区理事中川贵义先生和石川县白山市市政府国际交流室浦野彩夏女士也应邀为活动作报告。

“东南大学 - 小松大学” 暑期学校交流周活动开幕

刘乃华教授是日本公立小松大学国际文化交流学部教授，也是本次活动的日方牵头人。他在此次交流活动中为我们做了“辞书中的‘南京’记忆的构建”主题报告。在报告中，刘老师为我们细数了历史上日语中的“南京情结”，并指出日语中“南京”相关词汇见证了中日两国文化交流的历史。我们既要铭记历史，也要了解中日两国人民友好交往的历史，增进彼此之间的了解和理解，促进中日友好。



刘乃华老师在作报告

EIZO株式会社制造部生产技术科系长、日本石川县日中友好协会地区理事中川贵义先生应邀作了“EIZO株式会社与中国”主题报告，结合其自身的工作经历，向我们介绍了日企EIZO株式会社的经营理念与发展历程以及它在中国的发展，并耐心地解答了同学们有关日企就职方面的问题。

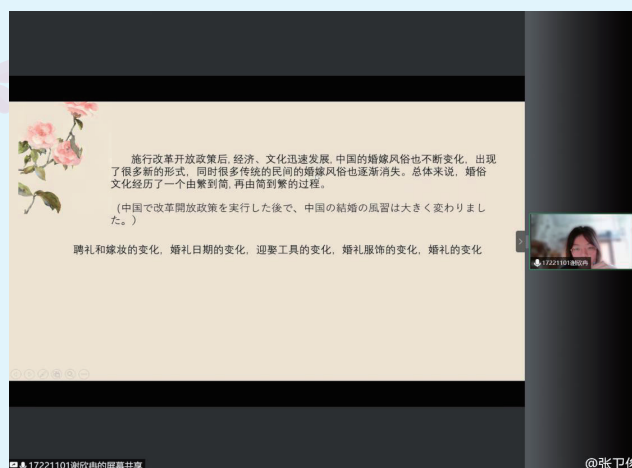


中川贵义先生在作报告

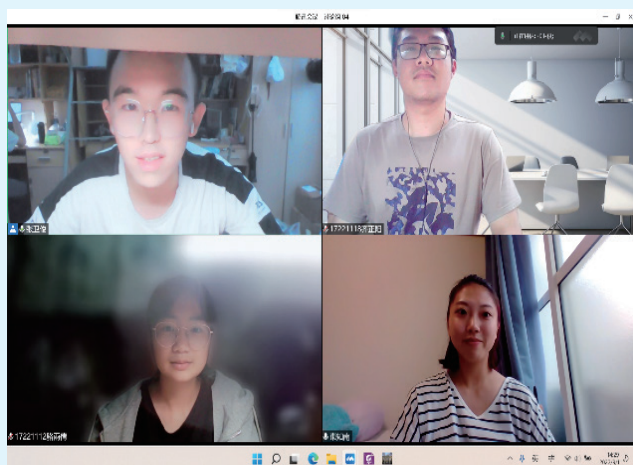
石川县白山市市政府国际交流室浦野彩夏女士应邀作了“白山的魅力与日中交流”主题报告，为我们介绍了白山市的概况以及近年来白山市大力推动对外交流，与江苏省溧阳市结为友好城市的情况，还为东南大学日语系学生赴日留学深造提供了实用的建议。



现已就职的二位小松大学的毕业生沟边干太和高桥优大也分别为大家做了“日本大学生的求职之道”，“日本民间的禁忌与迷信”两场讲演，丰富多彩的内容吸引了两国学生的关注。



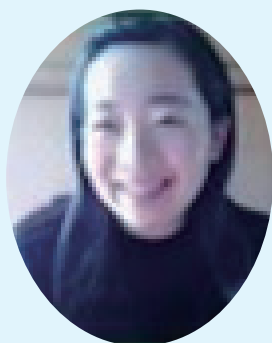
中日两国学生还在老师们的指导下，围绕“中日异文化交流”、“中日大学生求职现状”、“我的家乡与中国/日本”和“中日两国的民俗”四个主题制作 PPT 发表课件，并进行了深入细致地分组讨论和交流。在交流互鉴中，两国大学生不仅提高了各自的外语运用能力，更深化了对邻国文化的了解和认识，不少同学还在研讨中结下了难能可贵的跨文化友谊。



中日两国大学生进行汇报和交流

暑期学校交流周活动圆满结束后，同学们纷纷表示在本次活动中收获颇丰、受益匪浅，并期待着未来能有更多的国际交流活动。

师生反馈评价



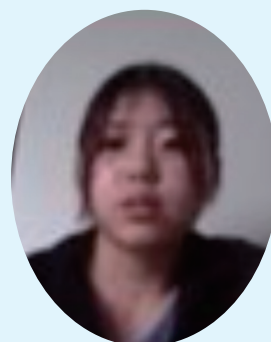
藤木 菜緒

今回、異文化交流という今後世界中で大切になるであろうテーマについて中国の学生と意見交換したことで、異文化と触れ合うにあたって日本人に求められる態度を改めて考えることができました。また、中国の学生の意見は日本社会を客観的に捉えたものであり、その意見を聞くことは、今まで私が気がつかなかった日本の姿に気がつくいいきっかけになったと思います。

这次活动，就跨文化交流这个在今后世界中可能会变得非常重要的课题与中国学生交换了看法，这促使我能够重新思考在与异文化的接触过程中，日本人所该采取的态度。此外，中国学生的意见客观地捕捉住了日本社会，我认为听取他们的意见有助于发现我不曾注意到的日本的姿态。

交流会に参加して、東南大学の学生から中国の様々な文化をたくさん学ぶことが出来ました。日本と異なる点も多く、とても興味深いと感じました。今回の経験を今後の自分の活動に活かして行きたいと思います。

参加本次交流会，我从东南大学的学生那里学到了中国的诸多文化。和日本不一样的地方很多，非常耐人深思。我想借鉴这次的经验来应用在我今后的活动中。



藤田 彩楓

五日間ありがとうございました。去年も参加しましたが、去年よりもたくさんお話をすることができたので嬉しく思っています。拙い中国語で不安でしたが、皆さんが優しくしてくださり嬉しかったです。非常感谢大家！

谢谢大家一周以来的陪伴。去年我也参加了这个活动，比起去年，我能说得更多了，为此感到非常开心。曾经为自己拙劣的汉语感到不安，可是大家都非常包容地对待我，非常感谢大家！



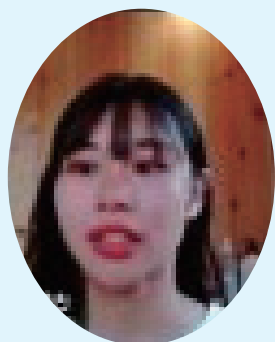
東 知南

初めて夏休みに開催される交流会に参加しました。中国の少数民族や伝統文化など、様々なことについて知ることが出来ました。また、私も中国の学生たちに日本文化や伝統行事について紹介することが出来ました。さらに、午後には小グループに別れて意見交換する時間も設けられていました。そのおかげで中国の学生たちと仲良くなれました。

我是第一次参加国际暑期学校。在这里，我了解了中国的少数民族和传统文化，也向中国的学生们介绍了日本文化和日本的传统风俗。下午还设置有交换看法的小组谈论时间，多亏这个，我和中国的学生们变得熟悉起来，大家成为了好朋友。



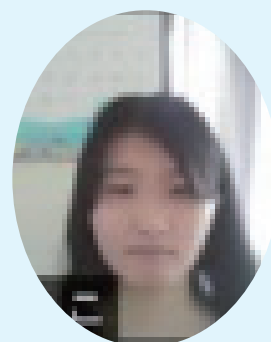
葉佳嬋



大橋 瑠理花

在这次和东南大学学生的交流中，我了解到日本和中国在文化上很多不一样的地方。互相了解并理解异文化是很重要的！今后，我要更加努力地学习汉语。我希望跟中国人的交流越来越多。以后我希望能去中国，学习中国的文化。我以后一定继续努力学习。

这次的交流活动让我有机会了解了中国文化，也让我更多地了解了我的家乡。我做了一个关于我的家乡和中国的关系的发言，在准备中我了解到了我以前很多不知道的事情，所以这对我是一次开阔眼界的大好机会，这次的活动让我度过了一段很有意义的时光。



石上 ももこ



木村 桃花

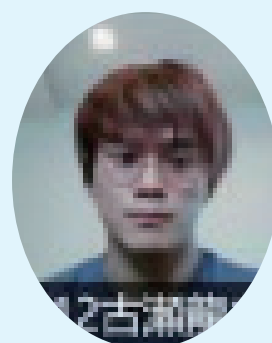
我从学汉语到现在一直没有与中国学生交流的机会，所以这次的交流活动对我是一次非常宝贵的经历。能完全听懂中国大学生的汉语，对我来说不是一件简单的事，可是在活动中我可以了解到各种各样的中国文化，所以我感到很高兴。下午的小组讨论，对我来说是最有意义的时间。一开始我很紧张，后来，我可以越来越轻松地和中国大学生互相交流自己的爱好和文化。我要努力地学汉语，我希望今后能流利地说汉语。



小林美月

在这次交流会上，我得到了说中文的机会。我第一次跟这么多的中国人说话。这次的交流的经历，让我感到我的汉语水平还很低。但是，这也成了我更努力地学好汉语的一个契机。我期待今后能流利地用汉语和中国人交流。

在这次与东南大学的交流中，我感受到了中文的博大精深。有些汉语即使在发音上有些细微差别，也可以表达出不同的意思，我很感兴趣。在这次交流中，我发现我的发音不好，所以今后在学习中文时，我应该注意练习我的发音。



古瀬龍之介



田彩霞

インターナショナルサマースクールの4週目には、日本の学生さんとコミュニケーションをとることができました。今回の交流は、単に日本の学生と会話をするというよりも、日本の民俗学や礼儀作法を学び、コミュニケーションや人との付き合い方を学ぶという意味合いが強かったように思います。「青山一道同雲雨，明月何曾是兩鄉」。中日の文化には相違点があり、その相違点を合理的に認識し、他国の文化を尊重しなければならない。また、他国と交流する中で、自国の先進的な文化を発揚し、他国の優秀な文化を参考にすることを学び、包容の心を持って世界に向かう過程で絶えず勉強し、成長することが重要だと思います。

第四周的国际暑期学校，让我们与日本同学进行沟通交流。我认为此次交流，不仅仅是简单的与日方同学进行对话，更多的是对日本的民俗、礼仪的学习，以及学习怎样与他人交流、相处。“青山一道同云雨，明月何曾是两乡”。中日文化存在异同，我们应该合理的认识、看待其中的差异，尊重他国文化，也要在和他国交流中，发扬本国先进文化，学习借鉴他国优秀文化，以一颗包容之心，在走向世界的过程中不断学习、成长。



邹方苗

サマースクールの交流プログラムはとても良い交流の機会です。私達に日本の学友と一緒に勉強して、一緒に検討するプラットフォームを提供していただき、日本の社会、文化などの方面の状況を深く理解することができて良かったと思います。日本の学生と議論した後、私の日本に対するステレオタイプの考えは実際の状況と一致していないことを発見した。このように、一つの国と民族を理解するためには、互いに交流し合うことによってはじめて真実の情報が得られ、仲良くする方向に発展することができると思います。

暑期学校的交流项目是一个很好的交流机会，为我们提供了与日本同学共同学习，共同探讨的平台，让我们能够深入了解日本社会，文化等方面的情况。与日本同学探讨过后，我也发现，我对日本存在的刻板印象并不完全与实际情况相符，由此可见，想要真正的了解一个国家和民族，我们需要与之交流探讨，才能得出真实印象，让双方朝着友好相处的方向发展。

日本の公立小松大学の学生たちと正式に会う前に、私はずっとドキドキした気持ちで、彼らとうまく交流できるかと心配していました。しかし、初日小林さんと話すとき、彼女の熱心は一瞬にして私の心配を打ち砕けたのです。私たちは中日文化の違いについてたくさん交流しました。彼女は上海のディズニーランドに興味を持っていて、私たちは今度一緒に遊びに行くことを約束しました。交流の時は中国語に日本語が混じっていたが、全体の過程は楽しかったです。私たちは日本のみなさんと毎日異なるテーマを通じて、多くの新しい友人ができて、多くの新しい知識を学び取り、日本文化に対してもっと深い理解ができて、とても有意義な交流イベントだと思います。



张逸昕

在与日本公立小松大学的同学们正式见面之前，我一直怀着忐忑不安的心情，担心自己的语言水平还不能和他们无障碍交流。但在第一天的交流环节，和小林同学一组时，她的热情瞬间就打消了我的顾虑。我们交流了很多有关中日文化的不同之处，她对上海的迪士尼很感兴趣，我们约好下次一起去玩。虽然交流时是中文夹杂着日文，但整个过程很愉快。通过我们和日本同学每天不同主题的介绍，我也结识了很多新朋友，学习到了很多新知识，对日本文化有了更深的了解。这是一次很有意义的交流活动。



韩佳祥

今回のサマースクールの中日学生交流活動は私たちに日本の学生と接触する良い機会を提供してくれました。小松大学の学生と交流する中で、日本の多くの方面の文化を理解することができると同時に、また、授業を通じて日本の学生にも多くの中国文化を紹介することができました。中国文化を世界に紹介することに自分なりの小さな貢献をすることができてうれしかったです。

本次暑期学校的中日学生交流活动给我们提供了一个接触日本学生的好机会。在与小松大学的学生交流的过程中对日本许多方面的文化有了更多的了解，同时通过课程活动也给日方学生介绍了许多中国文化。很开心能够为向世界展示中国文化做出一点自己的小贡献。

今回のサマースクールで最も印象に残ったのは、日本の学生との交流学习です。小松大学の upper level からの報告に加え、複数の留学生とのオンライン会議でのやりとりもあったのです。会話の練習になるだけでなく、国際的視野が広がり、スケールが大きくなることにつながると思います。交流の過程は学習であり、私たちは日本の文化を肌で感じると同時に、中国の特色文化を宣伝することもできました。

本次暑期学校令我印象最深刻的是和日本同学的交流学习。除了有来自小松大学高年级同学的主题分享，还有我们和多位留学生的线上会议对话。这不仅仅是一个非常好的会话练习机会，更重要的是拓宽了我们的国际视野，打开了格局。交流的过程就是学习，我们既感受了日本文化，同时也将中国特色展示出来。



齐正阳

今度の小松大との交流会は私にとって実に収穫の多いものでした。午前中の講演を通じて日本の職場の大体の状況と日本のマナーを知りました。午後の交流を通じて日本の大学生の普段の好きな活動を知っただけでなく、いくつかの日本人学生のウィチャットを交換することもできました。今回の交流活動で日本語が話せるようになりました。自分の日本語はたどたどしいですが、向こうも頑張って中国語で自分の意思を一所懸命に表現するのを見て、私もぱっと勇気が湧いてきました。

这次与小松大学的交流活动让我受益匪浅，通过上午的演讲了解到日本职场的大致情况，以及日本的习俗礼仪。通过下午交流不仅了解到日本大学生平时喜欢的活动，也有添加到一些日本同学的微信联系方式。这次的交流活动让我变得敢说日语，虽然自己的日语磕磕巴巴，但看见对面也在同样努力地用中文表达自己的意思，我也一下子勇敢起来了。



林鼎立

学生名单

日方学生名单

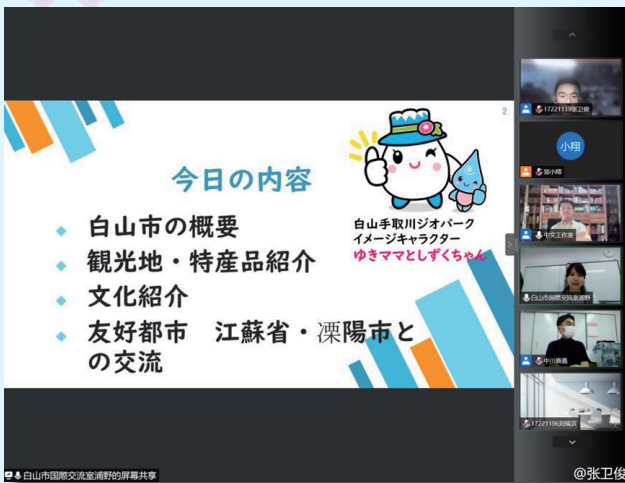
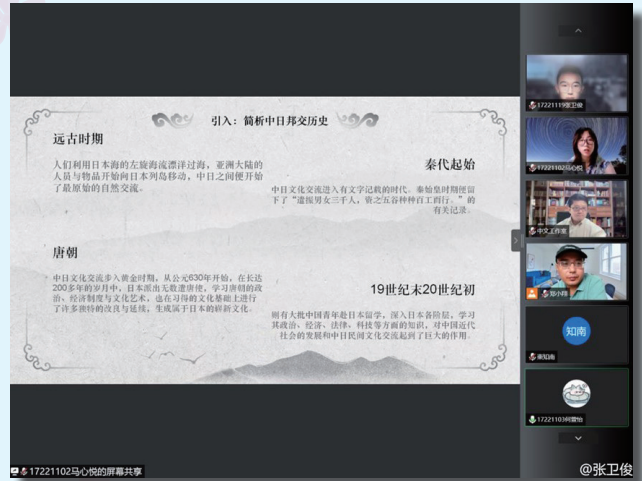
学校	姓名
爱知大学	河合惠吾
	須川創世
	曾根佑一郎
	平下明子
	松村彩香
	小川紗良
	野崎初音
	中島佑輔
立命馆大学	望月泉
	寺倉大智
公立小松大学	藤木菜緒
	上内思奈
	木村桃花
	石上ももこ
	大橋璃理花
	加戸聖大
	葉佳嬋
	杉山類
	東知南
	藤田彩楓
	山上ひより
	古瀬龍之介
	小林美月
	西本一葉

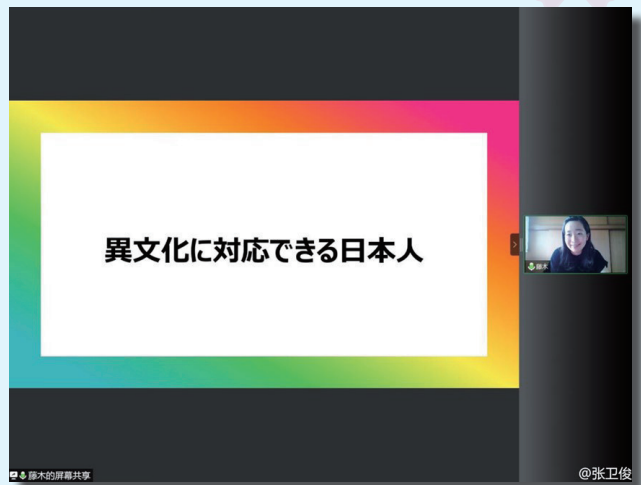
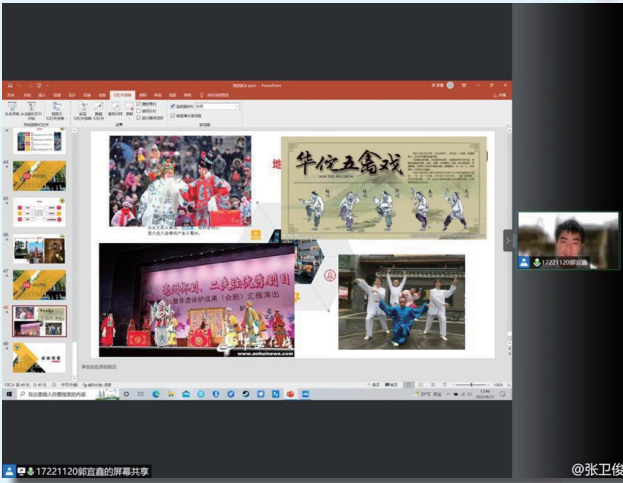
中方学生名单

学校	姓名
东南大学	张文敏
	冯小丽
	张斯媛
	李宝颖
	李志文
	杨蕙泽
	严黎儒
	韩欣宸
	张心越
	储浦京
	宋伟杰
	李竟涵
	连健钧
	吴 骥
	芮宜斌
	曾思洋
	谢欣冉
	马心悦
	何萱怡
	蒲树
	田彩霞
	刘瑜滨
	邹方苗
	张及乐意
	张诗伦
	张逸昕
	蒋心桐
	骆雨倩
	李沁园
	张蓝心
韩佳祥	
林宝龙	
方 睿	
齐正阳	
张卫俊	
郭宜鑫	
姜蕴恒	
周 强	
林鼎立	
何 骁	

活动剪影

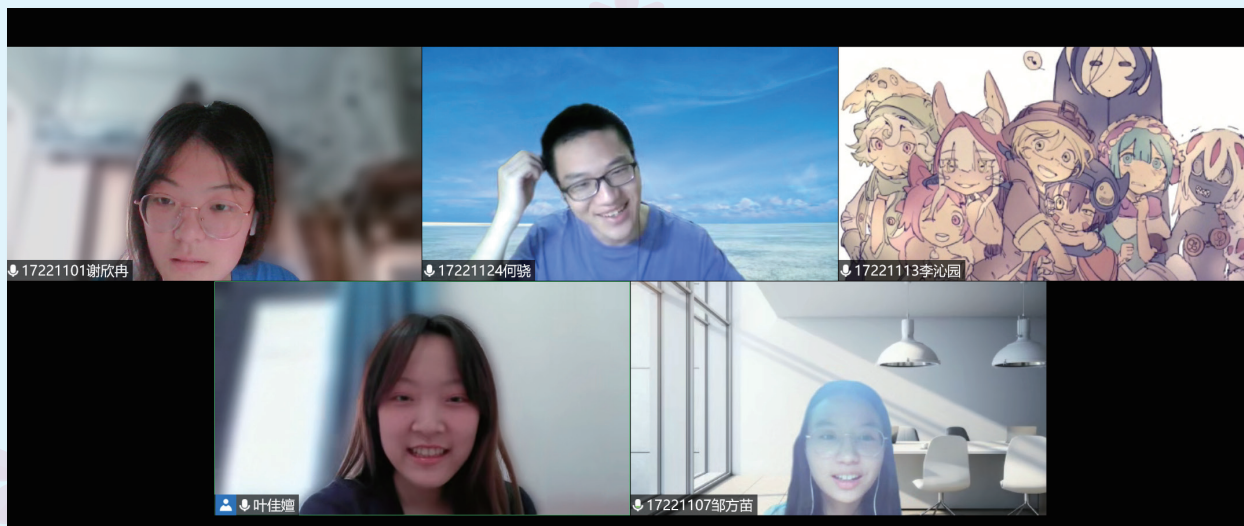
——专栏一：中日文化交流





活动剪影

——专栏二：中日分组研讨



学习成果展示

——专栏三：中日学术探索

「史実」と「叙事」

17220116 達純特

今回の一週間の成田先生の集中講義が印象的でした。これまでも歴史に触れることはありましたが、今回は貴重な知識を教わったのは初めてです。

成田先生の講義は、日本の歴史研究を詳しく紹介してくださいました。これまで教科書でしか歴史を学んでこなかった私たちがほとんど耳にすることのなかった研究方法や理論を、今回は成田先生の授業で学びました。また、中国人学生にとって、日本の歴史学は非常になじみがない分野ですが、先生は非常に真剣に多くの学生を紹介し、私たちの意見を大いに意にこめてくださいました。

ある日の討論で、成田先生は現代の歴史学の研究方法を詳しく紹介してくださいました。ポストモダニズムの学者から見れば、歴史は唯一の真実がなく、ただ異なる人の異なる叙事にすぎないと彼はおっしゃっていました。彼は私たちの理解できるようにこのような観点を持つ学者を非常に多く挙げて、そして多くの彼らの分析の事例を提供してくださいました。

これに対して、真実は必ず存在すると信じてきた私は、非常に理解しにくいと感じています。それで、成田先生は非常に丁寧に説明し、できるだけ分かりやすい言葉でその意味を説明してくださいました。

私から見れば、真実そのものが叙述であれば、真実が真実を見つけたと主張する人は、様々な方法を利用して発言権を獲得しなければならぬのではないのでしょうか。もしそうであれば、発言権を獲得するために不正な手段を使うことも避けられないのではないのでしょうか。そう考えながら、私は残念ながら成田先生に質問を提出するチャンスを失ってしまいました。今後とも、この問題の答えを探したいと思っています。

午後の討論授業では、成田先生と歴史についてのいろいろ話し合いました。私たちのすべての質問に成田先生は詳しく答えてくださいました。私は政治学に興味があり、成田先生にお薦めの政治学者の作品があるかどうか聞いて、先生は私に3人の政治学者を推薦してくださいました。私はこれら3人の作品をぜひ読みたいと思います。

この機会に成田先生の授業を受けることに誠に感謝しています。成田先生のような学識豊かな人になるように、しっかりと努力していきたいと思っています。

歴史の周期性についての思考

17220111 張心越

ドイツのヘーゲルは、歴史は歴史から教訓を得ることはできないと言った。そういう周期的に繰り返される歴史を、私はいろいろな面で感じている。最近ではイスラエルの首相が下野し、日本の元首相が暗殺された。20世紀の初めにも似たような光景があった。また、中国が現在直面している日本のバブル期と似たような社会問題や、歴史的にも新型コロナと似たような大流行があった。これらの出来事は偶然ではなく、歴史の輪に巻き込まれるのではないかと考えた。このような奇蹟を打破することが、私たちにとって重要だと思ふ。

集中講義の中で成田先生も同様に、先生は私の質問を聞いて、ヘーゲルはどんな人だと思いませんかと聞き返した。ヘーゲルは非常に博学な歴史家だと答えた。実は、私はヘーゲルについてあまり深くは知らない。授業の後で資料を調べ、私はヘーゲルが歴史家であるだけでなく、偉大な哲学者である事実に驚かされていることを発見した。私は一瞬にして人物の言葉を聞き取りるとは非常に不合理的な行為だと気づいた。

人間は歴史から教訓を得ることはできないというヘーゲル「歴史哲学」にある言葉だ。「教訓」は前後で指す言葉が違う。後者は、人間が過去の出来事から得た教訓であり、前者は、その教訓をまとめた、「人間は同じ過ちを繰り返している」という結論である。ゆえにヘーゲルが本当に言いたかったのは、人間が同じ過ちを二度も犯すことができないように、国家はそのために全く新しい唯一無二の局面を開く必要があるのだから、国家に固執して歴史の経路をそのまま取り入れることはできないということである。

哲学者は日本が西洋に進むことも江戸に等しいことも同意していないが、歴史は前者の経験と類似し、現在を認識し、未来に向かうことにあると思う。

「歴史は驚くほど似ているが、簡単に繰り返さない」というのが、物事の発展における自然の法則であり、哲学的な証言である。この類似は形式的類似も持っているが、完全に同じではない。このような類似性と規則性を論議するのはもちろん望ましくないが、形而上学的に機械的なものと同様に非科学的である。しかし、それでも私は、それぞれの歴史には価値があると考える。歴史は完全に繰り返されないかもしれないが、我々には類似の局面を解決する方法についての経験を読み取ることができる。例えば、日本のポスト・モダニズムは、世界中を驚かしたバブル経済もあって、海外の注目を集めた。なぜ日本だけが西洋の社会は、消費社会といおうと、ポスト・モダンといおうと、そのような驚異が許すほど急

戦後日本史の見直し

17220107 楊建輝

八月二十五日に成田先生は日本の戦後史について講義をしてくださいました。今クルスマイトと陸先生のもとで戦争記念館による形成した人々の記憶を研究していますので、成田先生の講義から戦後史を新しい切り口により理解させて示唆をいただけた。あの日午後の討論でパートナーと興味深い問題について検討して、私は皆好奇心を持って質問を二つ先生に伺いました。このレポートもその質問について展開したいと思います。

成田先生は二十五日の午前中の講義で大文字のPと小文字のpを紹介してくださいました。初めて聞いたので、政治生活はこのような言い方で簡単に簡単に二つの状況に分かれて面白く感じました。大文字のPの政治的人間と小文字のpの性的人間はどのようにお互いに力を与えて変化するか、その後、どのような社会の背景が人々に影響を与えていたのか、もつと知りたくなりました。そのため、「戦後の特徴」として「私生活の重視」はより民主化になった表現ではないだろうかという質問を私が出しました。先生は本当に親切で、できるだけ簡単な言い方説明してくださいました。

それは戦争中の日本ではみんな公共事業に完全に身を投じて、その時、大文字のPが頂上になってきて、相応的に、小文字のp、それも、自分や家族に対する関心はほとんどなくなりました。しかし、戦争は失敗してしまいました。大文字のPへの権力が弱れてしまいました。それから、みんな注目しているのは公共生活に転換していきなさい。その結果、これまで日本人が集まってきた、公衆的な集まることはアジアの総論ではないと言います。戦後のこの「転化」民主化につながる表現に相違ありません。むしろ、民主主義が激しく強化されたのに政治・社会への無関心は深刻な問題となっています。

そのほか、すこし首を傾げたのは自衛隊の観点です。自衛隊は「戦後の結核として」「対米従属構造」が未だ残されているとともに、戦後そのものを承認するという歴史意識の構造」ということが提唱されました。しかし、戦後日本は急速に発展した姿を見て、それは戦後による日本の発展に与えた影響を減らすことに役立ったと言えないのではないだろうかとも考えました。戦後そのものに対する認識を否認する問題は構造的な問題を生みだすのか、どのような問題があったのか、という質問が先生に出ました。先生は相変わらず詳しく説明していただきました。戦後、日本国民は「負けた」という結果がなかなか認めかねたので、アメリカは「日本と協力しよりよい社会を作ろう」というような言い方で国民たちが受け付

日本女性史を見直す

17220106 李莹颖

女性史を学び、ジェンダー平等を考えるきっかけを提供してくれました。今回の授業で先生は私たちに日本の女性史を教えてくれて、女性の地位とジェンダー平等について考えさせられました。

先生の講義によると、高倉忠義さんは『近代家族とフェミニズム』で「男は公共領域、女は家内領域」と書いています。このように女性史は、男性が公共領域に属し、家計の収入や重要な決断を担うことを意味します。これは、女性が家内領域に属し、子供の養育、老の介護、家事の負担、家族関係の維持の責任を負うことを意味します。伝統的な性別役割により、良妻賢母、夫は妻を大切にするとなどの概念が女性の主観的なイメージをある程度限定されました。

男は公共領域、女は家内領域という性別区分は中国の主要な性別区分モデルでした。伝統的な社会では、ほとんどの家庭で経済的財を男性に依存し、女性は家事と子供の世話に主に従ってました。21世紀の今でもこのような伝統的な考え方の影響を受けています。今の社会では、多くの女性が家庭を出て、職場に上がっているが、このように柔軟な女性の家事労働は依然として仕事量を減らすことにはなく、彼女たちは依然として家事労働の大部分を担っています。これは女性にとって不公平です。このような性別区分は同時に男性を圧迫しており、父親的区分は家庭を養って金を稼ぐ圧力に課し、金を稼ぐかどうかは男性を評価する基準と見えています。それが男に大きなストレスを負わせます。

中国と日本の社会政治制度は異なるが、現代化の過程で、両国の女性が経験した困難な道は同じです。

私の知る限りでは、時代が変化して、日本の女性の地位が変わりつつあります。西洋文化が日本社会に浸透し始めたことにより、日本の「男尊女卑」という伝統的な思想が弱くなり、男女平等、女性の自由という西洋の新しい思想が徐々に受け入れられるようになりました。80年代以降になると、男女雇用機会平等法の施行に伴い、日本の女性は男性と同賃金で働く権利を受けました。より多くの女性が自己価値を實現し、経済的に自立しています。

中国における女性の地位は、大きく分けて3つの時期を経験しました。第一に、女性が男性から相対的に尊敬されてきたこと、つまり原始社会の初期の女性の地位です。第二に、男子は最高で、女子は権力がなく、すなわち伝統社会における女性の地位です。第三に、ジェンダー平等、すなわち現在と未来の社会女性の地位です。

公私分野の区別は性別ではなく、能力と意思に合ったものにするのが合理的な分業

歴史学の魅力

17220104 張新媛

今回の成田先生の集中講義で、戦後史学を始めて体系的に理解して学ぶことができました。これまではほとんど独りになった分野について初歩的な知識を得ることができました。成田先生は、歴史学の方法や理論、歴史家たちの視点の歴史学、歴史学における「事実」と「虚構」など、多くのことを教えてくださいました。たぐさの役に立つ知識を学びました。

その中で、一番印象的なのは、女性史とジェンダー史についての授業です。先生は、日本史における女性の不在と女性史の登場と展開について詳しく紹介してくださいました。私はこれによって、現在だけの女性の歴史に目立っていますが、歴史にある女性の不在に初めて気づきました。日本だけでなく、中国の歴史にも女性の不在があると思います。例えば、私が中学生の頃、教科書に載っている有名な人物はほとんどすべて男性で、女性の人物は非常に一人だけ詳しく紹介されています。しかし、古代の個人には男女が少ありませんでした。史書に過去の歴史的な人物で、編み出した個人としての女性、現代史における女性の主体性の欠如に気づいていると思います。また、成田先生は家庭の中で女性が担った役割について異なる視点を持つA型とB型、そして「A型」は「家庭」に対する異なる責任なども紹介してくださいました。それから、身の上劇の出現や関連する文学資料も紹介してくださいました。巨匠的な視点から女性史の発展を知ることができただけでなく、個人的な視点から当時の女性の生活環境や思想状況を理解することができました。

午後の授業では、成田先生が私たちが質問に詳しく答えてくださいました。成田先生の回答から多くのことを学びました。近代史学は機械的かつ公的領域が同時に性別役割区分という形を創り出されました。女性はおもむくはる領域、それから男性はもつてはる領域を担うというふうに創り出されて、そういう社会の仕組みを作りました。ですから社会で労働すること、例えば、家事労働すること、子供の世話をするのは女性が担当します。社会に出て働くことは男性が担当します。ジェンダーフェミニズムはそういうような役割分担に基づく社会に批判的に分析しています。私の問題は、社会の問題であるというよう強く主張を持っています。成田先生は、この主張を説明するために、Dの例も挙げました。詳しく説明してくださって、たいへん勉強になりました。

成田先生の授業を受けることができてラッキーでした。先生の授業で今まで知らなかった知識にもたくさん触れることができました。先生の質問の答えにもとても感じています。これからも日本の歴史についてもっと勉強するよう頑張ります。

歴史と文学の間

17220101 張文敏

2022年9月22日から26日までの5日間、日本の著名な歴史学者である成田先生から「メタスタシス」として、歴史学を学ぶ」というテーマでオンライン集中講義をいただきました。大宮3年生のときから、このような著名な歴史学者の話を聞くことができたのは貴重な体験でした。

21日、先生は歴史学の研究史を、まず山内隆吉さんに代わられる戦後史、次に野村浩一さんに代わられる戦後史、そして最後に社会史というプロセスに分けて説明されました。2日目は、歴史と文学の相関関係や学際について、歴史と文学の観点から論議を聞いていただきました。3日目はジェンダー史、4日目は日本戦後史の講義をそれぞれ担当されました。最終日には、日本の戦後思想と現代思想について学び、集中講義の締めくくりとしました。

今回の集中講義で最も印象的なのは、歴史学と文学という課題でした。この課題では、文学でメディアを通じた歴史学の普及において、「事実」と「虚構」がしばしば絡み合っていることを先生がお話されました。この観点で、私のいろいろな考えを呼び起こした。文学とは、話し言葉や文書文化として、客観的な世界を主観的な認識を表現する方法です。文字は記録（歴史書、ニュースレポート、科学論文など）に使われるだけでなく、その思想や感情も込められているのです。文学はその時代のものであり、異文化時代には、その作品が書かれた時代の特殊な知識があるもので、つまり、歴史と文学の組み合わせが、作者の個性に対する歴史の「記述」なのです。歴史を「記述」するとなると、どうしても作者の主観が入り込んでしまいます。文字は時に暴力的な手段としても強力な武器になります。文は、実際に起こったことを静かに伝え、消し、やがて時代の考え方を伝えてしまおうとすることがあります。

私は、中国史において「歴史的影響を持つ『永樂大典』を思い出しました。明の時代の朱棣が『永樂大典』を編纂した当初の意図は、「権威の樹立」以後、自分に与った暴君と悪徳のレッテルを剥がすことでした。このことは、古来、民衆の思想を統制する目的で、物語や文書文化を演出することが一般的であったことに示している。このように、歴史（存在した客観的な）と文学（主観的な認識）が絡むことで、その背後にある事実と虚構も、絡み合っているのです。

しかし同時に、文学の力は限りがあることも確信しています。歴史の中で本当に起こったことはそこにあり、どんな過去を語ろうとしても、歴史を正確に、本当に起こった事象の中心本質の歴史を演出することができない人がいるのです。そのためには、歴史を学ぶ際に弁証法的、自立的に考える力が必要です。

学习成果展示

——专栏四：中日学术发表



中方学生成果 PPT 合集



日方学生成果 PPT 合集



東南大學
SOUTHEAST UNIVERSITY

出品：东南大学外国语学院 日语系

总策划：刘克华 郑小翔

主编：杨 瞳

摄影：张斯媛、张卫俊

排版设计：万智明

2022年7月-9月

